

CQ65 妊娠中のシートベルト着用について尋ねられたら？*Answer*

1. 「斜めベルトは両乳房の間を通し、腰ベルトは恥骨上に置き、いずれのベルトも妊娠子宮を横断しない」という正しい装着により交通事故時の障害を軽減化できると説明する。(B)

▷ 解説

本邦の交通事故による死傷者数は依然として多く、その中に含まれる妊婦の数も相当数が見込まれる。しかしながら、本邦の人口統計・警察統計ともに妊婦の交通事故死傷者数を明らかにしていないので、実態は不明である。村尾ら¹²⁾(表1)の試算を参考にすると、本邦では年間約1~7万人の妊婦が交通事故により負傷し、約千人から1万人の胎児が流・早産し、年間40人程度の妊婦が死亡することになる。現在の妊産婦死亡・周産期統計の水準から考えるとこの数字は無視できない大きさである。

Schiffら³⁾の報告では、交通事故による母体死亡の77%がシートベルトを着用していない状況で発生している。Wolfら⁴⁾は妊婦がシートベルトを着用していない場合、交通事故時の胎児死亡相対危険度はシートベルトを着用していた場合の4.1倍になると指摘している。妊婦のシートベルト着用積極的推奨は母児を守ることに寄与すると考えられている⁵⁾。

先進国の多くが妊婦のシートベルト着用を義務づけている(表2)のに比し、本邦でのシートベルト着用義務規定における妊婦の取り扱い文言は一部曖昧で罰則規定がないなど解釈・運用の混乱がみられる。1970年代の腰ベルト一本のみの二点固定式シートベルトの場合には、事故衝撃時の母体強度屈曲により妊娠子宮破裂が懸念されたが、平成6年(1994年)からは後部座席でも三点固定式シートベルトが義務化された。この三点固定式シートベルトの正しい装着(表3)は母児の安全性を高めると考えられている。産婦人科医は、妊婦に対して「斜めベルトは両乳房の間を通し、腰ベルトは恥骨上に置き、いずれのベルトも妊娠子宮を横断しない」という正しいシートベルト着用方を指導することが望ましい。産婦人科医が妊婦のシートベルト着用をより強く推奨することにより、本邦母体死亡総数を減らせる可能性がある。しかし、「不慮の事故を含む外因」による妊婦死亡は本邦妊産婦死亡統計に含まれていないので、本邦の妊娠関連死亡(Pregnancy-related death: ICD-10, WHO, 1990)数は不明である。

(表1) 本邦における妊婦交通事故死傷者数の試算

交通事故負傷者数/生殖可能年齢(16~45歳)
$222,000/25,300,000 = 1/114$
年間出生数 $\times 1/114 = 10,500$
(妊婦交通事故負傷者推定)
交通事故死者数/生殖可能年齢(16~45歳)
$915/25,300,000 = 1/27,700$
年間出生数 $\times 1/27,700 = 43$
(妊婦交通事故死者推定)

(表2) 妊婦シートベルトの法制度

通常人と同様、一律にベルト装着を義務づけている国
 カナダ、アメリカ、スウェーデン、フィンランド、ベルギー、オーストリア、ギリシャ、スペイン、イスラエル、オーストラリア、ニュージーランド、シンガポール
 原則として装着義務があるものの、ベルトを免除する旨の医師の診断書を携帯している者のみ例外としている国
 イギリス、ドイツ、イタリア、オランダ、スイス

(表3) 妊婦のシートベルト装着方法

1. 常に肩ベルトと腰ベルトの両方を装着する。
2. 腰ベルトは妊娠子宮の膨らみを足側に避けて、腰骨の最も低い位置、すなわち両側の上前腸骨棘～恥骨結合を結ぶ線に通す。腰ベルトは妊娠子宮の膨らみを、決して横切ってはならない。
3. 肩ベルトは妊娠子宮の膨らみを頭側に避けて、胸骨前すなわち両乳房の間を通過して側腹部に通す。肩ベルトは妊娠子宮の膨らみを、決して横切ってはならない。また、頭側にずれて首をこすこともないように留意する。
4. ベルトが緩むことなく、ぴったりと心地よく身体にフィットするよう調節する。必要があれば、ベルトが適切に装着できるよう、座席シート自体の位置や傾きを調整する。
5. 妊娠子宮の膨らみとハンドルの間には若干の空間ができるよう、座席シートの位置を前後に調節する。

文 献

- 1) 村尾 寛, 金城国仁, 他: 妊婦交通外傷 43 例の臨床的検討. 日産婦誌 1999; 51: 293—297 (III)
- 2) 村尾 寛, 仲本 哲, 他: 妊婦交通外傷 80 例の臨床的検討. 日産婦誌 2000; 52: 1635—1639 (III)
- 3) Schiff M, Albers L, Mcfeely P: Motor vehicle crashes and maternal mortality in New Mexico: The significance of seat belt use. West J Med 1997; 167: 19—22 (II)
- 4) Wolf ME, Alexander BH, Rivara FP, et al.: A retrospective cohort study of seatbelt use and pregnancy outcome after a motor vehicle crash. J Trauma 1993; 34: 116—119 (II)
- 5) ACOG educational bulletin: Obstetric aspects of trauma management. Number 251, September 1998 (replaces Number 151, January 1991, and Number 161, November 1991). American College of Obstetricians and Gynecologists. Int J Gynaecol Obstet 1999; 64: 87—94 (ACOG Educational Bulletin)